

ロケ情報誌「かわさきロケーションガイド」を発行します！

川崎市は、オフィス、繁華街、住宅地に加え、臨海部の工場地帯、各地に広がる緑地や田園風景、個性豊かな民間・公共施設など、映像制作に適した様々なロケーションに恵まれ、ドラマや映画などのロケ地として撮影が行われています。

市制100周年にあたり、これまで市内で撮影が行われたロケ地や、数多くの作品を紹介するロケ情報誌「かわさきロケーションガイド」を発行します。



かわさきロケーションガイド(表紙)

<掲載内容>

●撮影された作品の紹介

市役所や市内の民間施設でのロケの実績紹介

●ロケ地マップ

多くの撮影が行われた市内の施設・公園等を作品名と区別のマップで紹介



●川崎ゆかりの映像人を訪ねて

市にゆかりの深い映像人、今村昌平氏(映画監督)、岡本喜八氏(映画監督)、実相寺昭雄氏(映画監督・演出家)、山田太一氏(脚本家)の紹介

●アニメの舞台に！

川崎市が舞台となったアニメ「ガールズバンドクライ」。作品に登場する川崎の主要スポットをご紹介します



川崎市旧本庁舎でのロケの歴史も振り返る

<仕様・配布場所>

- サイズ A4判カラー／8ページ
- 配布開始時期 令和6年7月上旬から
- 配布場所 区役所、支所、出張所、行政サービスコーナー、かわさき情報プラザ等
- *「かわさきロケ情報」HPにデータ掲載



かわさきロケ情報 HP

「ロケ地川崎推進事業」について

川崎市内の様々な施設や場所がロケ地として活用され、映画やテレビ、ネット等の映像メディアを通じた発信が行われることを通して、市のイメージアップや地域の活性化等を目指す「映像のまち・かわさき」の取組です。

【問合せ先】川崎市市民文化局市民文化振興室 梅澤
電話：200-2416 FAX：200-3248



KAWASAKI

LOCATION

GUIDE

川崎市ロケ情報誌



映画史に残るヒット作から隠れた名作、話題のドラマまで

**川崎市で撮影された
作品をご紹介します!** P.2-3

MAP片手にまちを散策♪

川崎市ロケ地マップ P.4-5

川崎が誇る、映像の“プロフェッショナル”集団

映像制作を支える地元企業に注目! P.6

最新の映像技術を使った映像制作ができる

最新のスタジオが川崎に! P.6

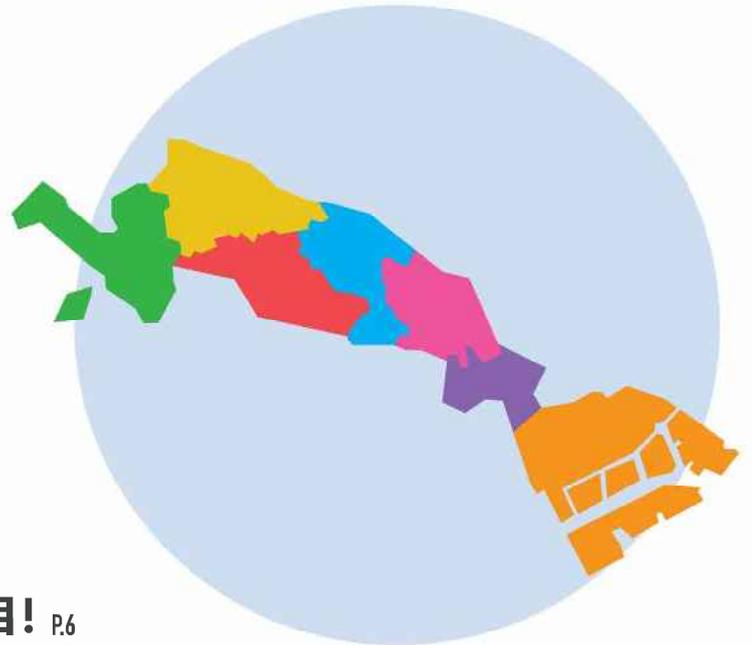


映画・ドラマ史にその名を刻む

川崎ゆかりの映像人を訪ねて。 P.7

おなじみの“あの場所”が

アニメの舞台に! P.8



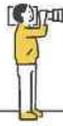
令和6年に市制100周年を迎える川崎市は、これまで多くのドラマや映画などのロケ地として撮影が行われてきました。

市内には、オフィス街・繁華街・住宅地に加え、臨海部の工場地帯、各地に広がる緑地や田園風景、個性豊かな民間・公共施設があり、映像制作に適したさまざまなロケーションに恵まれています。

また、映画館・撮影スタジオをはじめ、映像に関連する事業者も多く、映像に関わる著名人たちにも愛されてきました。

そんな「映像のまち・かわさき」の魅力をご紹介します。





映画史に残るヒット作から隠れた名作、話題のドラマまで

川崎市で撮影された作品をご紹介します!



市施設、民間施設問わず、川崎市では様々な撮影が日々行われています。

ここでは、市内の主要ロケ地をそこで撮影が行われた代表的な作品とともにご紹介します。

川崎市役所

本庁舎

関東の自治体ではいち早く撮影受け入れを開始した旧本庁舎。昭和13年に建てられ平成28年まで使用された重厚な石造りの建物はとても人気がありました。警視庁や県警察、裁判所などの設定で数々の作品に登場しました。



実はこの作品のロケ地になりました!

- 「美女が野獣」(2003年 フジテレビ)
出演:松嶋菜々子、福山雅治
- 「デスノート」(2006年 ワーナーブラザーズ)
出演:藤原竜也、松山ケンイチ
- DEATH NOTE デスノート
【スペシャルプライズ版】
原作:大場つぐみ・小畑健
(集英社少年ジャンプコミックス刊)
監督:金子修介
Blu-ray&DVD発売中
発売元:パイプ
©大場つぐみ・小畑健/集英社
©2006 DEATH NOTE FILM PARTNERS
- 「うめぼれ刑事」(2010年 TBS)
監督:宮藤官九郎
出演:長瀬智也、荒川良々、中島美嘉、ムロツヨシ
- 「怪物くん」(2010年 日本テレビ)
出演:大野智、八嶋智人、上島竜兵、チェ・ホンマン
- 「沈まぬ太陽」(2016年 WOWOW)
出演:上川隆也、渡部篤郎

第2庁舎 第3庁舎 第4庁舎

検察庁や病院、警察の所轄署などの撮影が多く行われました。第3庁舎の南側公開空地ではキッチンカーの出店広場としての撮影も行われました。



実はこの作品のロケ地になりました!

- 「愛してたって、秘密はある。」(2017年 日本テレビ)
出演:福士蒼汰、川口春奈、鈴木保奈美
- 「べしゅり暮らし」(2019年 テレビ朝日)
監督:劇団ひとり
出演:間宮祥太朗、渡辺大知、小芝風花
- 「絶対零度~未然犯罪潜入捜査~」(2020年 フジテレビ)
出演:沢村一樹、水野美紀、本田翼
- 「サンクチュアリ-聖域-」(2023年 Netflix)
出演:一ノ瀬ワタル、染谷将太、忽那汐里



New!

2023年11月6日に新たに川崎市役所本庁舎が開庁しました!市民に長く親しまれた旧本庁舎の玄関、時計塔、市長執務室が復元されて一般公開されています。これからのロケスポットとしても注目されています!



▲明るく開放的な1階アトリウム



▲市内や東京・横浜方面を一望できる25階のスカイデッキ



▲日中とは違った顔を見せる夜の新庁舎

市内企業・施設

株式会社レゾナック(旧:昭和電工)川崎事業所本事務所

昭和6年に建てられた本事務所は、戦後改修されているものの、当時の面影が残された希少な建造物。歴史ものの作品だけではなく、趣のある室内は様々なシーンに似合います。

映画 「奥様は、取り扱い注意」「エヴェレスト 神々の山嶺」「アルキメデスの大戦」「映像研には手を出すな!」「記憶屋 あなたを忘れない」「HIGH&LOW THE RED RAIN」「昼顔」

ドラマ 「不毛地帯」「東京にオリンピックを呼んだ男」「砂の塔~知りすぎた隣人」「人は見た目が100パーセント」「もみ消して冬~わが家の問題なかったことに~」「探偵物語」「おしい刑事」「トットちゃん!」「やすらぎの刻~道」「シャーロック アントールドストーリーズ」



THINK SPOT川崎

バレーボールの日本を代表する選手が練習をしていたJFE旧体育館。広くて天井の高い室内は撮影スポットとしても貴重でした。時にはローマに、時にはアジアの野戦病院に、そして有名アーティストのミュージックビデオなど、こちらも様々な作品が撮影されました。※現在は使用できません

映画 「テルマエ・ロマエ」「あしたのジョー」「エイトレンジャー」「東京喰種」「映像研には手を出すな!」「貞子3D」

ドラマ 「花咲舞が黙ってない」「不毛地帯」「ミス・シャーロック」「深夜食堂」「赤ひげ」「全裸監督」「サンクチュアリ-聖域-」

MV 嵐/EXILE/GACKT/クリスタルケイ/乃木坂46/BE:FIRST



ラチッタデッラ

イタリア風の街並みが様々なロケに使われています。

映画「シュアリー・サムデイ」では、噴水広場で2日間、夜を徹しての撮影が行われました。監督を始め今では主役級の役者さんが勢ぞろいしていました。

映画 「シュアリー・サムデイ」「HERO」「検察側の罪人」「ラブ&ピース」「さまよう刃」



川崎アゼリア

1986年にオープンした川崎駅東口の地下ショッピングモール「川崎アゼリア」。開業より市民に親しまれている川崎を象徴する施設です。

映画「シン・ゴジラ」では地下街を逃げ惑う人々のシーンを撮影しました。

ドラマ 「男女7人秋物語」「S-最後の警官-」「デザインベイビー」「ぼくの魔法使い」



川崎マリエン

川崎マリエンは、市民の方々が港に親しみ、港湾及び海事に関する理解を深めていただくためのコミュニティー施設。

人気シリーズ「相棒」の警視庁の内部として、シーズン1から廊下や会議室などが使われています。

ドラマ 「相棒」シリーズ「警視庁・捜査一課長」「刑事7人」「未満警察ミッドナイトランナー」「アトムの童」



かわさき多摩川ふれあいロード

- 作品名 日本テレビ「MIU404」(2020)
TBSテレビ「さくらの親子丼」(2020)

歩行者も自転車も安心安全に利用できるコースを目指して名づけられた「かわさき多摩川ふれあいロード」。伸びやかな多摩川の河岸を見渡せる道になっていて、いつの季節も情緒がある風景があります。「さくらの親子丼」のように穏やかに会話をしながら歩くシーンから、「MIU404」のような刑事ドラマのシーンまで、様々な撮影が行われています。



川崎市岡本太郎美術館

- 作品名 映画「光」(2017)

生田緑地の中にある岡本太郎美術館の敷地には高さ30mの「母の塔」があり、映画「光」では、監督の熱烈なオファーにより撮影が行われました。



多摩区

Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu

- 作品名 SHISHAMO「最高速度」ミュージックビデオ(2024)



等々力緑地にある川崎フロンターレのホームスタジアム。陸上トラックや等々力緑地内の他施設を使ってSHISHAMOのMV撮影が行われました。その他CM撮影等も行われています。

川崎市国際交流センター

- 作品名 フジテレビ「風の戦争」(2023)
テレビ朝日「マルスーゼロの革命」(2024)

市民の国際交流、多文化共生の拠点施設の国際交流センターは平成6年にオープン。センターには、ホールやレセプションルーム、会議室、図書、資料室、料理室などの施設があります。「風の戦争」では、草野剛哉さん演じる主人公・藤津の緊急記者会見のシーンがレセプションルームで撮影されました。



特別会議室

夢見ヶ崎動物公園

- 作品名 NHK総合「ドキュメント 72 時間」(2020)
映画「アンダードック」(2020)
ドラマ「ビーナツバタ〜サンドウィッチ」(2020)



1974年4月に開園してから市民からずっと愛されている加瀬山にある動物公園。園内にはレッサーパンダをはじめ50種類以上の動物たちが生活しています。NHK総合の「ドキュメント 72 時間」では数日に渡り園の様子取材されました。

幸区

川崎市産業振興会館

- 作品名 TBS 日曜劇場「日本沈没-希望のひと-」(2021)
関西テレビ「合理的にあり得ない〜探偵・上水流涼子の解明」(2023)

川崎駅西口近くに建つ複合施設。1階のホールや大小様々な会議室は企業様の研修や市民の皆様の催し物などで人気の施設です。「日本沈没」では1階ホールが首相官邸の記者会見場として、「合理的にあり得ない〜探偵・上水流涼子の解明」では木目の壁が人気の会議室が登場しました。



KAWASAKI LOCATION MAP

川崎市ロケ地マップ

高津区

川崎市民プラザ

- 作品名 TBSドラマ「初恋の悪魔」(2023)

川崎市民プラザは、ふるさと劇場、屋内広場、ギャラリー、セミナールーム、大広間、茶室、和室、レストラン、日本庭園、プール、体育館、トレーニングルームなどを備えた、用途が多彩な施設です。なかでも、ふるさと劇場や屋内広場はロケでの利用も多く、ドラマ「初恋の悪魔」では、劇中の寄席まわりのシーンにふるさと劇場が使用されました。

橘処理センター

- 作品名 日本テレビ「THE LAST COP/ラストコップ」(2015)
テレビ朝日「宇宙戦隊キュウレンジャー」(2017)

令和6年4月に本格稼働した橘処理センター。旧施設から建て替え開始までの期間限定で、撮影場所として活用していました。「ラストコップ」では施設の様々な場所でアクションシーンが行われました。「宇宙戦隊キュウレンジャー」では処理施設の無機質な作りが悪者の組織のアジトに理想的だと撮影スタッフから喜ばれました。



MAP片手にまちを散策！
ロケ地巡りや、おすすめのスポットで
川崎を楽しもう！



川崎区

カワスイ 川崎水族館

- 作品名 テレビ東京「ウルトラマンブレーザー」(2023)

「世界の美しい水辺」をテーマに、地元多摩川からアジア、アフリカ、南米アマゾンの熱帯雨林の水辺の生きものたちを最先端の照明、音響、映像技術を使って展示する都市型水族館。ドラマ「ウルトラマンブレーザー」第4話では藤野友也さん演じる主人公ヒルメグと、梶浦姫奈さん演じるアオキ エミによる重要なシーンに、9Fにあるカワスイを代表する水槽「パンタナール」が登場しました。



KAWASAKI BRAVE THUNDERS COURT

- 作品名 日本テレビ「有吉の壁」(2023)、大手企業TVCM、有名アーティストMV

川崎駅徒歩5分「ラチッタテッラ」内のイタリア風街並みに面したバスケットボールコート。屋外でありながらもコート全体を覆うドーム型の屋根により、日中は直射日光を避け、夜は照明の下でプレーすることができます。街の賑わいも感じられ、「有吉の壁」などのバラエティ番組やCMなどの撮影が行われました。



TREX KAWASAKI RIVER CAFE

- 作品名 TBS ドラマ「結婚届に判を捺したのですが」(2021)
フジテレビドラマ「知ってるワイフ」(2021)

国際戦略特区「川崎キングスカイフロント」の「The WARE HOUSE」1Fにある、ライフスタイル&ストア「RIVER CAFE」。外に出ると多摩川の自然が広がり、横には地域の公園、対岸には羽田空港の飛行機が飛び交う様子を眺められます。程やかに流れる時間に豊かなライフスタイルを体感できる場所です。「結婚届に判を捺したのですが」では清野菜名さん演じる明葉と高杉真直さん演じる牧原がよく訪れるカフェの設定で登場しました。



麻生区

CAFÉ & SPACE L.D.K.

- 作品名 MBS毎日放送「サブスク不倫」(2023)



小田急多摩線栗平駅から徒歩1分、2019年にオープンしたアットホームなカフェ&レンタルスペース。明るくて落ち着いた空間の広々としたカフェの他、リビングのように使えるレンタルルームはキッチン付きの部屋も。ドラマの撮影ではソファ席に座りお茶をしているシーンが撮影されました。

川崎市アートセンター

- 作品名 フジテレビ「リズム」(2023)

個性的で美しい外観の川崎市アートセンター。映像ホールでは厳選された作品が上映され、劇場でも様々な作品が公演されることで、市民から熱い支持を受けている施設。ドラマ「リズム」ではダンス大会の会場の設定となりました。最終回主人公たちの集大成を見せるシーンの撮影が行われ、俳優部もスタッフも一丸となった撮影が行われていました。



宮前区役所

- 作品名 WOWOW「オレは死にまっただぜ!」(2023)

天気の良い日には富士山が望める富士見坂の終点に位置する宮前区役所。市民広場に面した壁はガラス張りになっていて、WOWOW「オレは死にまっただぜ!」では、ダンスの練習場として撮影が行われました。



宮前区

菅生緑地

- 作品名 フジテレビ「ギブン」(2021)、テレビ東京「じゃない方の彼女」(2021)



中央卸売市場北部市場の向かいに位置する菅生緑地東地区には斜面を利用した遊具があり、雑木林に囲まれた広い草原広場はファミリーの憩いの場となっています。また西地区には竹林、原っぱ、池など情緒ある景色が楽しめます。ドラマ「じゃない方の彼女」では濱田岳さんが演じる雅也と山下美月さん演じる怜子が公園で話をするシーンで数回登場しました。

※紹介施設は、撮影実績のある施設、その近隣の施設となります。全ての撮影を受け入れることを約束したものではありません。



川崎が誇る、映像の“プロフェッショナル”集団

映像制作を支える地元企業に注目!

カースタント&ボディスタント

タカハシレーシング



1965年、高橋勝大(たかはしまさお)氏を筆頭に、タカハシレーシング結成。カースタント(2輪・4輪)をはじめ、ボディスタント、劇用馬術等の映画、テレビ、各種イベントを含む、広範囲にわたる分野への出演は多数。1996年より各県警及び全国交通安全協会による交通安全キャンペーン、NHKによる交通事故防止を目的とした事故再現実験等に協力・出演も行っている。



タカハシレーシングの“BOSS”こと高橋勝大さんに訊きました!

どうしたら
スタントマンになれますか?

身体能力や免許・資格の有無など、応募条件は各事務所によって異なりますが、一般的な「できる」と、撮影についての「できる」は違うんです。なので、これができたらスタントマンになれるという明確な答えはありません。スタントの技術は実際に経験しながら向上させていくもの。もしスタントマンになりたいと思ったら、「今の自分」を受け入れてくれる事務所を探しましょう。そこで技術を向上させていければいいのです。

スタントマンは毎日どのような
トレーニングをしているんですか?

タカハシレーシングでは、基本的な体力、身体能力をスタントに適した柔軟さを培うためのトレーニングから始まります。そして、空いた時間は自主トレです。あとは現場に出て、先輩のアシスタントをしながら学び覚えています。それに加え、安全対策の操演の基本や、車、バイクなど撮影や作業の空いた時間を利用して日々技術を磨いています。

今まで一番大変だった
スタントを教えてください!

スタントは好きでなければなかなかできない特殊な仕事。一日に5回、6回と車ではなられたり、絶壁から何度も海へダイブをしたり...周りから見ると大変な仕事なのかもしれませんが、大変という感覚よりも、やり遂げた充実感の方が強いです。どんなことも「大変」「つらい」と捉えるのではなく、それをすることで「何かが得られる」という思考が大事。その経験がすべて自分の技術につながっていくと考えています。



スタントの技術と経験を生かした社会貢献活動も!
交通安全教室 & 安全運転指導

タカハシレーシングでは、スタントで培ったドライビングテクニックや安全管理技術をもとに、50年以上にわたって交通安全教室や安全運転指導、事故解析を実施しています。交通安全や自転車の安全走行について、実際に危険な場面を見ることによって、子供たちに安全な歩行や運転を心がけてもらうことに役立っています。

Members Wanted!!

メンバーを募集いたします。
対象年齢...18歳~35歳

詳細につきましてはホームページ内お問い合わせフォームよりご連絡下さい。



タカハシレーシング <https://www.takahashiracing.co.jp>



最新の映像技術を使った映像制作ができる

最新のスタジオが川崎に!

ポリュメトリックビデオスタジオ-川崎

「ポリュメトリックビデオ」とは、リアルとバーチャルを行き来し、スポーツやエンターテインメントにおける映像の在り方を革新する新技術、撮影した出演者を瞬時に3D化し、空間の様々な位置からのカメラワークを実現します。「ポリュメトリックビデオスタジオ-川崎」では、約100台のカメラで撮影し、スタジオ内の時間と空間をまるごとキャプチャーすることができます。

ポリュメトリックビデオ生成のステップ



出演者などの現実世界を取り込み、3Dモデルとして蓄積するため、空間内の自由な位置や角度からの映像やXRなど、多彩なデータの生成が可能です。カメラワークを自在に編集できるので、上空を自由に飛んだり、地面の下から見上げるようなアングルを撮影できたりと現実空間では見られない映像が制作できます。

これまでは無かった新たな映像体験ができるこのキャノンの技術は、スタジオでのCMやミュージックビデオの制作、アーティストのライブ配信だけでなく、野球やバスケットボールなどのスポーツ中継にも使用されています。今後ますます活用の場が広がるでしょう。



【お問い合わせ】キャノン株式会社 イメージソリューション事業本部 SV事業推進センター <https://global.canon/ja/contact/vvs/vvs-form.html>



映画・ドラマ史にその名を刻む

川崎ゆかりの映像人を訪ねて。

(敬称略・五十音順)

今村 昌平

[1926 - 2006]

映画監督・脚本家



日本を代表する映画監督。日本の伝統的な社会構造の縮図や終戦後の厳しい境遇を生きた人間の欲望と力強さ、愚かさを描き、人間とは何かを問う作品は、重喜劇と呼ばれ、海外からも高い評価を受けた。昭和58年(1983)「楯山節考」と平成9年(1997)「うなぎ」で、カンヌ国際映画祭の最高賞パルムドールを2度にわたり受賞した。現在、2つのパルムドールトフィーは川崎市アートセンターに展示されている。

今村氏は、教育者としての顔を持ち、1970年代、日本映画が低迷期となっていた頃、自ら映画人材育成に寄与した。昭和50年(1975)横浜放送映画専門学校を創立。その後、昭和61年(1986)に川崎市麻生区に移り、日本映画学校(専門学校)を開校。平成23年(2011)に日本で唯一の映画単科大学として、日本映画大学が開学。これまで、多くの映画人を輩出し、現在も、伝統と建学の精神が引き継がれている。また、30年近い歴史のある「KAWASAKI しんゆり映画祭」の生みの親と云われ、現在は、市民スタッフが中心になり運営され、毎年多くの市民に親しまれている。



▲パルムドールトフィー

岡本 喜八

[1924 - 2005]

映画監督



映画監督。東宝入社後、マキノ雅弘、成瀬巳喜男、谷口千吉らの助監督に。初監督作「結婚のすべて」でNHK最優秀新人監督賞受賞。代表作は「独立愚連隊」、「江分利満氏の優雅な生活」、「日本のいちばん長い日」、「肉弾」(芸術祭文部大臣賞、毎日映画コンクール監督賞、シナリオ作家協会賞受賞)など。1974年、喜八プロダクションを設立。91年「大誘拐RAINBOW KIDS」で日本アカデミー最優秀監督賞・脚本賞などを受賞。戦争映画を中心に、アクション、ミュージカル、時代劇、ホームドラマなど、多彩なジャンルを手がけ、常にユーモアを忘れないテンポの良い作風で知られ、「鬼才」と呼ばれた。

川崎市との縁は深く、多摩区生田で自作のロケを実施し、後に居を構え、亡くなるまでこの土地を愛した。

実相寺 昭雄

[1937 - 2006]

映画監督・演出家



テレビ、映画、CM、AV、オペラとジャンルを問わず演出・監督した他、脚本、小説、エッセイを執筆し書や絵画も数多く残した。その多彩さを才能の無駄遣いと評されても意に介さなかった。よく用いた落款は「夢中遊行」である。

ウルトラマンやウルトラセブンの監督としても知られていて、独特の演出に多くのファンがいる。川崎が舞台となったウルトラセブン「狙われた街」には工場地帯の4畳半の部屋で宇宙人とウルトラセブンがちゃぶ台を挟んで対峙するシニールな場面が有名。

川崎市麻生区に住居があったことから、脚本執筆時に「万福壽 百合」、「川崎 高」のペンネームを使ったこともあった。

山田 太一

[1934 - 2023]

脚本家



脚本家、小説家。松本竹下木下恵介の助監督をした後、フリーとなり、テレビドラマの脚本家に転身。以後『岸辺のアルバム』『早春スケッチブック』『ふそろいの林檎たち』など話題作を次々と生み出し、多くの賞を受けた。その後小説家としても地位を確立。映画や舞台も手掛ける。テレビドラマ「ありふれた奇跡」のワンシーンを高津区役所で撮影した際に、差し入れを持ってきてくださり、「高津区民なので区役所でロケがあつて嬉しい」と言っておられた。

川崎市名誉文化大使として、川崎市の文化芸術の振興に多大に貢献をいただいた。他にもNHKドラマ「キルトの家」でも川崎市が撮影協力をしている。

ドキュメンタリー映画

実相寺昭雄の世界 -ウルトラマン創作秘話-

「映像のまち・かわさき」推進フォーラムと、実相寺昭雄研究会が2021年にドキュメンタリー映画を製作しました。実相寺昭雄研究会が長年にわたって関係者や制作に関わった方のインタビューを撮影した映像を基に、監督の履歴を紹介しながら結んでいる作品です。

2022年に『ウルトラマン55周年記念』と連動してチネチッタで上映会を開催し、多くのファンで満席となりました。

おなじみの“あの場所”が

アニメの舞台に!



アニメ「ガールズバンドクライ」

TOKYO MX、BS11、サンテレビ、KBS京都にて
2024年4月5日(金)より毎週金曜日24:30~放送

それぞれに悩みを抱えた少女たちがバンドを結成。怒りや喜びや哀しさを歌にのせて活動していくガールズバンドのアニメーション。ミュージックビデオには川崎の様々な場所が登場し、世界的に注目されています。

2024年4月から放送されたテレビアニメには、主人公の家や公園や街並みなど様々な川崎のロケーションが登場しました!ライブシーンは日ごろストリートライブに使われている場所がでてくるので、嬉しくなります。

声優を担当したのはガールズバンド「トゲナシトゲアリ」のメンバーたち。楽曲「爆ぜて咲く」のMVが公開後数ヶ月でYouTube再生回数1100万回を突破するなど既に多くのファンを持つアーティスト。今後の活躍にも大注目です。



© 東映アニメーション

アニメに登場する川崎の主要スポットをご紹介します!

川崎アゼリア



実際の写真は
こちら



故郷から上京してきたら東京ではなく川崎だった!主人公が、憧れのアーティストを探して駅前を走り回るシーンでアゼリアが登場しました。アゼリア内の店舗も登場しています。



ラゾーナ川崎



実際の写真は
こちら



主人公が3人でバンドを結成し、地域イベントのステージに初めて登場するシーンでルーファ広場が登場しました。ステージの楽しさを知り、バンド活動にはまるというシーン。バンドの名前はなんと「新川崎(仮)」でした。



川崎駅西口ペDESTリアンデッキ



実際の写真は
こちら



ミュージア川崎に続くペDESTリアンデッキは、主人公が雨の中走っているうちに転んでしまい、持っていたギターを落としてしまうというシーンで登場しました。



多摩川見晴らし公園



実際の写真は
こちら



京急線の線路下から多摩川に沿って延びる見晴らしの良い公園。歌を聞かせてほしいと言われた主人公が多摩川に向かって歌をうたうシーンで登場しました。



ロケのご相談は **ロケ情報、ロケ地も募集中!**

NPO法人かわさきムーブアート応援隊

☎044-276-9006

✉info@kawasaki-location.org

川崎ロケ情報

